

あなたに都政を 取り戻す。

ヤミ献金や税金の公私混同で、2代の知事が途中で辞職。
都民不在の都政に終止符をうち、「都民の声を聞く都政」に変えましょう。
いま、そのチャンスです。

「現場主義」つらぬき半世紀。がん克服し、ホノルルマラソン完走。

ジャーナリスト

と一緒に 変えよう！

「住んでよし」「働いてよし」「環境によし」の東京へ

■ 子育て・介護に優先的に予算を配分し 待機児ゼロ、がん検診100%、特養ホーム確保へ

- 保育所整備、保育士の給与アップ
- 高齢者の住まい確保。介護職員の給与アップ
- 若者への投資増やし、貧困・格差の是正を

■ 望む人が正社員になれる格差のない社会を

- 不本意非正規社員の解消へ、
正社員化を促進する企業に支援
- 長時間労働の是正、ワークライフバランス推進
- 東京の宝・職人を大切にするマイスター制度を拡充

■ 耐震化率100%。安全・安心なまちづくり

- 住宅・マンションへの耐震化助成拡充
- 原発に依存しない社会へ再生エネルギーの普及を

■ 東京五輪の成功へ、コンパクトでシンプルに

- 東京の可能性と魅力をアピール
- 徹底したコスト縮減

■ 憲法を生かした「平和都市」東京を

- 首都サミットの開催や文化・若者交流の推進
- 男女平等、DV対策、LGBT施策、
障害者差別禁止など人権守る都市に



市民と野党の共同で

(民進、共産、生活、社民、ネット)

東京から希望ある日本を

「住んでよし」「働いてよし」「環境によし」が実現できる東京を、一緒につくりましょう。その力は野党と市民の共同。参院選では全国32の1人区のうち野党共闘で11の勝利をかち取りました。最初のチャレンジとしては大きな成功です。今度は東京で都政を変える番です。

都政が変われば、東京と日本の政治を変えるうえで、はかりしれない大きな意義をもちます。ぜひ力をあわせましょう。

参院選1人区
野党の勝利数

2016年

2013年

岩手
沖縄

計 2

青森 岩手
宮城 山形
福島 山梨
新潟 長野
三重 大分
沖縄

計 11

憲法まもり都政に生かす人は？

改憲の流れを止めたい

ジャーナリスト

ジャーナリストは、参院選の結果を見て、このままでは日本が戦争する国になってしまう、日本の大事な憲法を変えようとする流れを止めたいと決意を固めました。

都政にとっても憲法は大争点。戦争になれば東京でも人々の命が脅かされます。地方自治をささえているのも憲法です。

ジャーナリストとともに、人権・平和・憲法をまもる東京をつくりましょう。



びっくり

元衆院議員（女性）は
核武装まで主張しています

安倍首相は、参院選が終わったとたん「（憲法改定に）橋がかかった」（10日夜民放インタビュー）と述べ、改憲に前のめり。

元衆院議員（女性）は、憲法9条を変え国防軍を創設するという自民党改憲草案の「流れでいい」と発言。日本の核武装を検討すべき、とまで主張しました（2009年「毎日」アンケート）。

安倍首相と一緒にやって憲法を壊す人に東京のリーダーはまかせられません。

待機児、介護の不安解消

本当にできる人は？

税金の使い方をくらし優先に きりかえる

ジャーナリスト

ヨーロッパの一国にも匹敵する財政規模を持ちながら、子育てでも福祉でも多くの問題を抱える東京都。いつまでも問題が解決しない根底にあるのは、大型開発偏重の都政のゆがみです。



「公共事業で経済をよくするやり方はやめて、高齢化対策や、待機児童、介護などの問題にお金を使って経済を活性化させる」と言うジャーナリストこそ、このゆがみをただせる人です。

自民・公明の都政で待機児解消が なぜすすまなかったのでしょうか

自民・公明与党の舛添都政がかかげた「待機児解消」がすすまなかったのは、十分な予算を組まなかったからです。

舛添前都知事の「長期ビジョン」は大型開発を推進し、幹線道路建設だけで年間2300億円もつぎこむ一方、待機児をゼロにするような規模の保育園建設と保育士確保には十分な予算を振り向けていません。

この「ビジョン」をひきつぐと言う元衆院議員の女性や元総務大臣の人では、「待機児解消」をいくら叫んでも財政的裏付けがありません。

都政を福祉・くらし優先にきりかえるジャーナリストこそ、待機児解消が実現できます。

大型開発偏重うけつぐ
元議員・元大臣ではできません

「政治とカネ」問題に鋭くきり込める人は？

ジャーナリスト

東京都政は、都民が汗水たらして働いて納めた税金で成り立っています。

この原点を忘れた都知事が2代続けて政治とカネの不祥事で都政を混乱させました。私は「納税者意識」を胸にとめ、都民の負託に応えます。

（決意表明より）

高額な海外出張、公用車の私的利用など、まともな金銭感覚も公私の区別もなかった舛添前都知事を「この人しかいない」と言って担いだのは自民党。自民の元衆院議員（女性）は、まず反省すべきではないでしょうか。

「納税者意識」を胸に、汗して働く人の感覚を持つジャーナリストこそ、舛添疑惑を解明し、クリーンな都政をつくる人です。